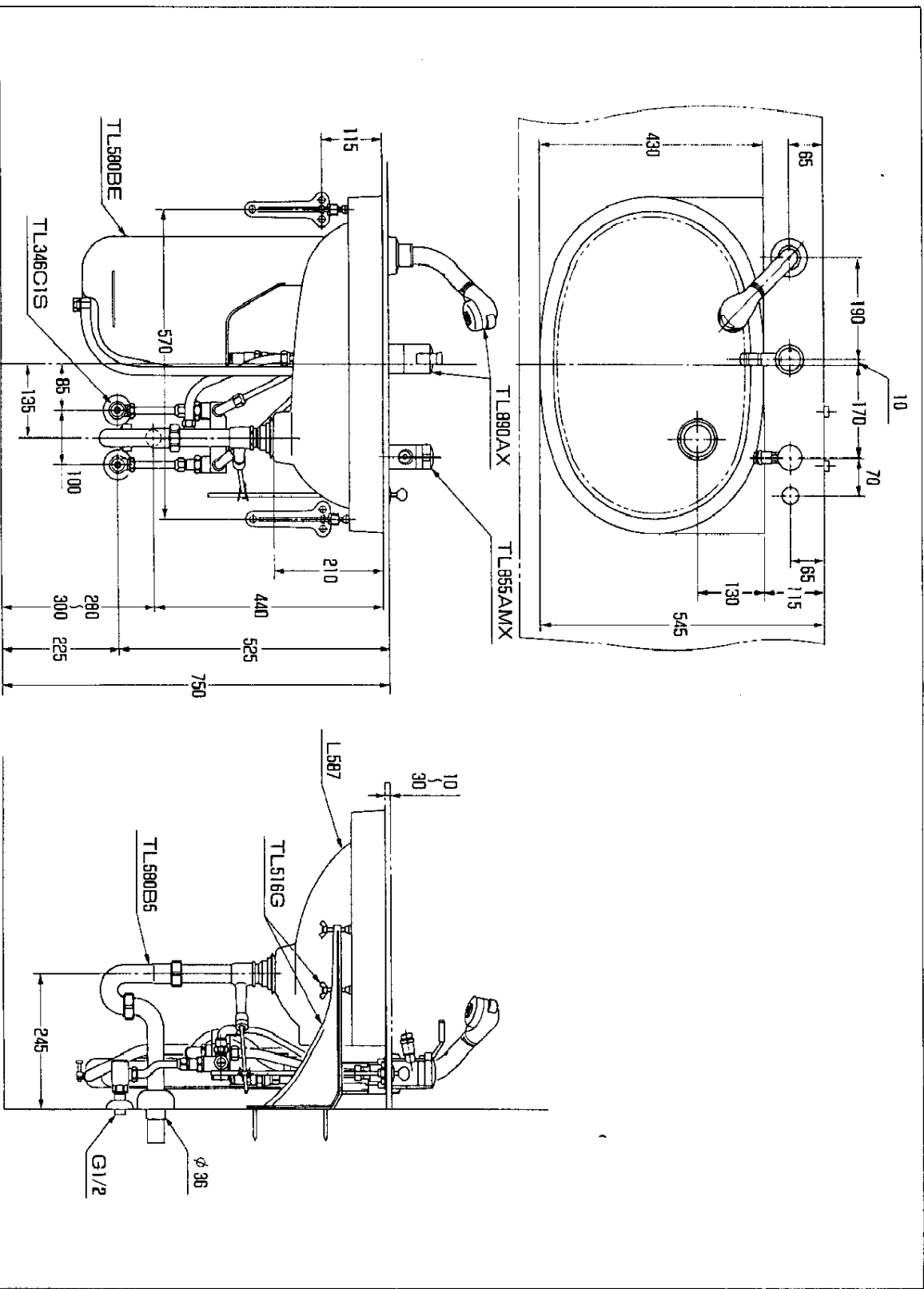


TOOTO 洗面器用洗髪機能付シングルサーモ混合栓施工説明書

完成図



*品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。

使用条件

1. 使用水圧

(1)瞬間型給湯機と組合せる場合

給水水圧 { 最低必要水圧……(下表参照)
最高水圧……0.75 MPa

器具入口部における最低必要水圧 (MPa)

給湯機の種類	号数	最低必要水圧
能力手動 切替タイプ	12号	A+0.57
	10号	0.11
TOTO カスタム 制御	18号	0.1
	20号	
	18号	
	20号	
比例 制御	TOTO トリコン	0.09
	トリコン シリーズ (トリコン、 コンタクト、 アクテイ)	0.1
	24号	0.08
	アクテイ31	0.05
TOTO コンパクト	16号	0.08
	24号	

(注) 表中のAは給湯機の最低作動水圧を示します。

(比例制御タイプにはこの数値が含まれています。)

(設定条件)

- レバーハンドルは中央の位置で全開
 - 吐水は整流吐水
 - 吐水温度：38℃
 - 給湯配管長さ：5m
 - 給湯機が着火する下限の圧力とする。
 - 水温の高い(25℃)夏期に着火させることを想定。
 - 能力手動切替タイプの出湯温度は最高温度に設定。
 - 比例制御タイプの出湯温度：60℃
- ※能力手動切替タイプで水温が高く着火しにくい場合は、能力を小さく切替えると着火しやすくなります。

(2)貯湯式温水器と組合せる場合

給水・給湯圧力 { 最低必要圧力……0.05 MPa
最高圧力……0.75 MPa

給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。

給水圧力が0.75 MPaを越える場合、市販の減圧弁で0.2 MPa程度に減圧してください。

2. 給湯温度は使用する温度より10℃以上高くしてください。

3. 給湯に蒸気を使用しないでください。

4. 湯・水を逆配管しないでください。

給水パイプには㊶ラベルを、給湯パイプには㊵ラベルを振付けています。

なお、給湯機からの給湯管は抵抗を少なくするため最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。

器具の取付け

1. 給水管内の清掃

器具を取付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。

2. 止水栓、サーモ本体の取付け

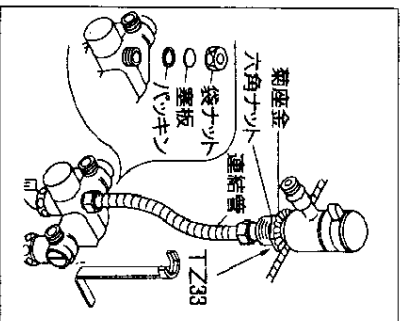
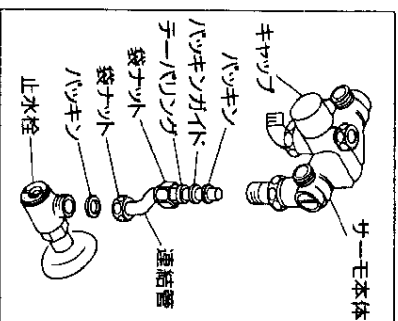
(1)止水栓(TL346CIS)は別売を取付け、連結管に袋ナットを通し、パッキンを入れ仮締めしてください。

(2)連結管に袋ナット、サーモ本体、パッキンガイド、パッキンの順に入れて、サーモ本体をキヤツプが正面に向くように差込んで手締後1回転以上締付けてください。

止水栓側の袋ナットは確実に締付けてください。

(3)立水栓(TL855AMX)を取付ける場合

●サーモ本体の上の袋ナット、蓋板パッキンを取りはずしてください。吐水口が正面を向くように固定してください。固定には別売のナット締付専用工具(TZ33)を利用して確実に締めてください。



次に立水栓とサーモ本体を連結管で接続して確実に締めつけください。

※混合栓本体を固定するとき、取付穴周囲の汚れをとり、セパレート紙をはがしてください。

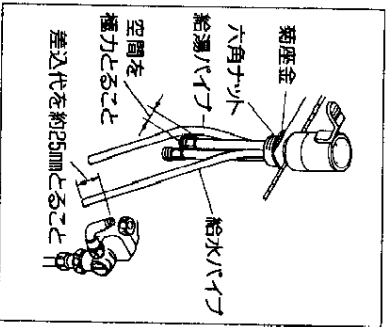
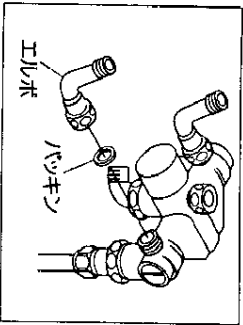
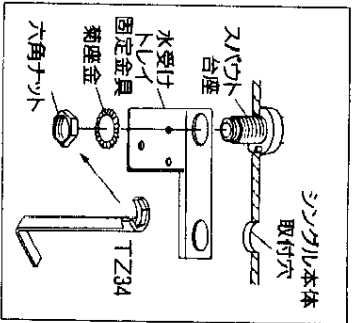
3. スパウトの取付け

スパウト台座をカウンタースタット穴に通し、水受けトレイ固定金具をはさみ込んだ状態で別売のナット締付専用工具 (TZ34) で確実に固定してください。

(このとき固定金具のもう一方の穴をカウンタースタットのシングル本体取付穴に合わせておきます。)

4. シングル本体の取付け

(1) ②で取付けたサーモ本体にエルボを仮固定してください。



②シングル本体が正面を向くように仮固定し、給水・給湯パイプをエルボの取出し位置に合うように曲げて広げてください。このときできるだけ直管部が長く、またパイプとの空間を極力とるようしてください。そのとき給水・給湯パイプがつかぬないように注意してください。

③給水・給湯パイプの必要長さをあたり切断してください。このとき、パイプ差込代は約25mm確保してください。

④シングル本体を本固定してください。固定には別売のナット締付専用工具 (TZ34, TZ36) を利用して確実に締めてください。次に給水・給湯パイプに袋ナット、テーパリング、パッキンカイド、パッキン順に入れて、エルボに差込みエルボをサーモ本体に本固定してください。

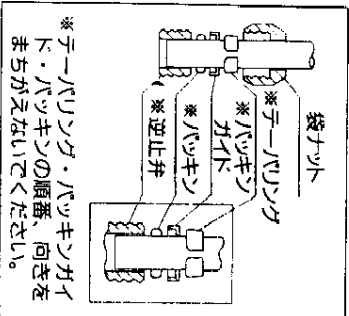
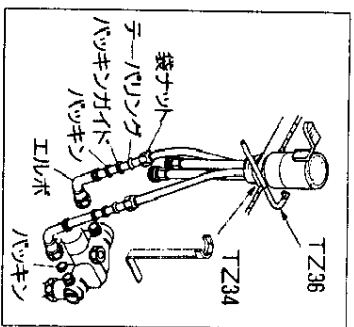
※シングル本体を固定するとき、取付穴周囲の汚れをとり、セパレート紙をはがしてください。

⑤最後に給水・給湯パイプをエルボに押しつけ、手締後1回転以上締付けてください。

注) 給水・給湯パイプの抜け防止のため、給水・給湯配管は動かないよう確実に固定してください。

5. ホースの取付け

ホースをスパウトの口から通し、シングル本体のホース接続部にナットを確実に締付けてください。寒冷地の場合は、ホースの水抜コックの取付け方向に注意すること。

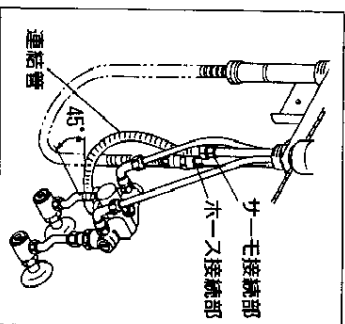
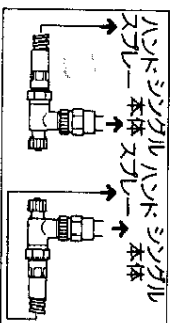


※テーパリング・パッキンカイド・パッキンの順番、向きをまちがえないでください。

6. 連結管の取付け

シングル本体のサーモ接続部とサーモ本体下側エルボを右図のように連結管を曲げて接続してください。

注) サーモ本体下側エルボは45°に傾けること。



適温調節

レバーハンドルを中央の位置（黄色のポイント）に合わせて、サーモスタットにより温度調節された湯が出ます。

適温は工場で約38℃に調節してありますが、取付現場の圧力状況などによって所定の温度にならない場合があります。その場合は、次の要領で調節してください。

調節する前に次のことを確かめてください。

- (a)止水栓は全開になっていること。
- (b)ストレーナーのごみつまりはないこと。
- (c)十分な温度（使用する温度より10℃以上）の湯がきいていること。
- (d)レバーハンドルを中央の位置（黄色のポイント）に合わせて。

●調節要領

- (1)キャップを回して外します。
- (2)スバウトより吐水させたまま、温度調節ねじを回し、お好みの吐水温度に合わせてください。
- (3)適温に合わせた後、キャップをもとどり取付けてください。



お手入れ

器具がいつまでも美しさを保つように、お客様にお手入れ方法をご説明ください。

- 1. 水栓の表面や樹脂部を傷つける以下のものは絶対に使用しないでください。

- ・ TOTO水あかクリーナー以外の酸性洗剤、塩素系漂白剤
 - ・ シンナー、ペンスンなどの溶剤
 - ・ TOTO水あかクリーナー以外のクレンザー、磨き粉など粗い粒子を含んだ洗剤
 - ・ ナイロントわし、ブラシなど
- もしタイルを酸性洗剤で洗った場合は、すぐにタイル及び器具を十分水洗いしてください。
- 2. 水栓の表面や樹脂部に付着した水あかなどの汚れ落としにTOTO水あかクリーナーのご使用をお勧めします。
- TOTO水あかクリーナーは水栓に傷をつけずに汚れを効果的に除去します。
- お求めはお近くのTOTOショールームもしくはTOTOパーセンタ―にお尋ねください。
- 3. 軽い汚れの場合は水またはぬるま湯に浸した布をよく絞って、汚れをふき取ってください。
 - ひどい汚れの場合は、適量にうすめた食器用中性洗剤を含ませた布で汚れをふき取った後、水洗いし、からぶきしてください。

ストレーナーの掃除

ストレーナが詰まると吐水量が少なくなったり水又は熱湯しか出なくなるなど十分な機能が発揮されなくなります。器具取付後は、必ずストレーナーを掃除してください。

また、お客様にもとまじき掃除していただくようにご指導願います。

寒冷地用の水抜き方法

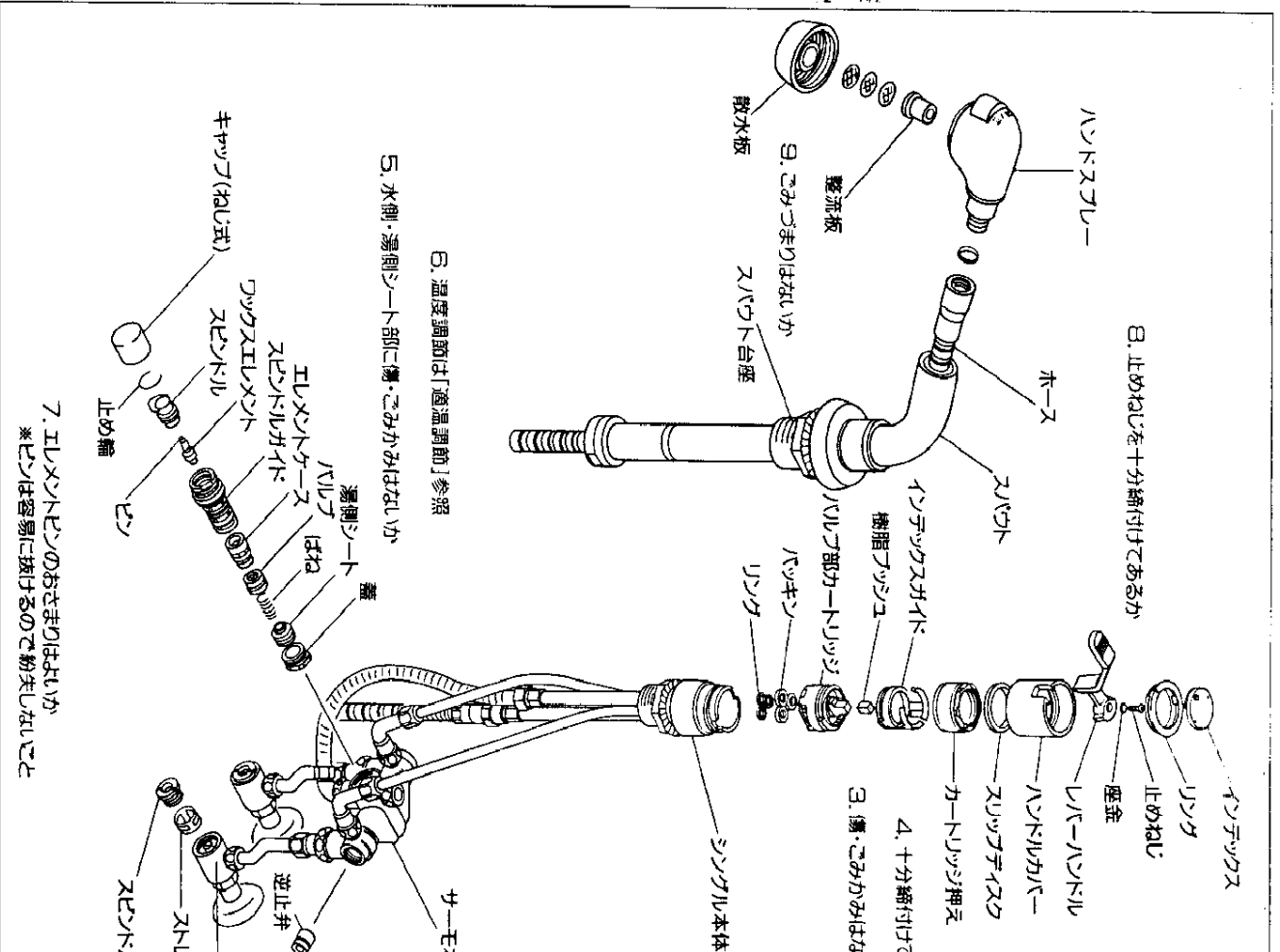
寒冷地用の場合は器具内の水を抜くため、水抜コックを設けております。凍結のおそれのある時期に施工された場合は、水抜き操作とあわせて次の要領で水抜きをしておいてください。また、お客様にも水抜き方法をご指導ください。

- (1)レバーハンドルを中央の位置で下げる。
- (2)水抜コックを開く。（受皿等で水を受けてください。）
- (3)レバーハンドルを左いっぱい回し、水が出なくなったら右いっぱい回す。
- (4)ホース途中の水抜コックを開く。
- (5)スバウトを上へ引き上げ、ホース内の水を抜き、さらにハンドスプレーを振って中の水を抜く。

分解と点検

ご注意 取付後、万一故障した際は、次の要領で分解および点検を行ってください。

バルブ部カートリッジ内部は精密加工された特殊セラミックバルブを組立調整しておりますので、絶対に分解しないでください。



8. 止めねじを十分締付けてあるか

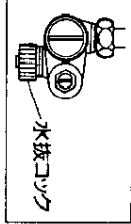
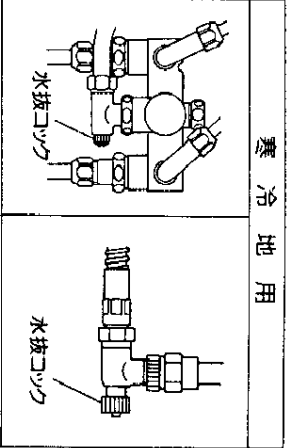
3. 湯・こみかみはないか

5. 水側・湯側シート部に湯・こみかみはないか

7. エレメントピンのおさまりはよいか
*ピンは容易に抜けるので紛失しないこと

1. 止水栓は全開されているか
2. こみかみはないか

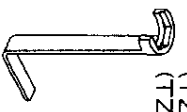
現象	点検項目
現 吐水量が少ない。	1. 2. 9
象 高温しか出ない。	1. 2. 5. 6. 7
低温しか出ない。	1. 2. 5. 6
レバーハンドルを中央の位置に合わせても高温が出ない。	1. 2. 5. 6. 7
水が止まらない。	3. 4
ハンドル部から水が漏れる。	3. 4
ハンドルがガタつく。	8



保持工具 (TZ36)



組付専用工具 (TZ33) (TZ34)



別売